



基安安発第 1130001 号

平成 18 年 11 月 30 日

都道府県労働局

労働基準部安全主務課長 殿

厚生労働省労働基準局

安全衛生部安全課長

(契印省略)

労働災害の増加に対応した労働災害防止対策の徹底について

標記について、平成 18 年 11 月 30 日付け基安安発第 1130002 号「労働災害の増加に対応した労働災害防止対策の徹底について」により通達されたところですが、管内事業者等への指導等においては別添資料を参考にされたい。

労働災害の発生状況について

1 概要

労働災害については、近年、死傷者（休業４日以上）は昭和５３年に増加した後、連続して減少し、死亡者も平成１１年に増加した後、連続して減少してきたところである。また、１度に３人以上被災する重大災害も近年増加していたが、平成１７年は減少に転じたところである。

しかし、平成１８年においては、本年１１月現在の速報値によると、死傷災害は１３１５人、２％増、死亡災害は５１人、５％増、重大災害は３８件、２１％増と増加している。

2 災害増加等の内訳

ア 死亡災害

業種別にみると、製造業２５人、１３％増（うち墜落・転落１７人増）、建設業４０人、１１％増（うち崩壊・倒壊１８人増）、陸上貨物運送業３０人、１７％の減などである。

仮設物・建築物・構築物等を起因物とした墜落・転落２２人増、環境等を起因物とした崩壊・倒壊１３人増、危険物・有害物等を起因物とした火災９人増などである。

（参考：「仮設物・建築物・構築物等」は足場、支保工、通路、建築物、開口部等、「環境等」は地山、岩石、立木、水、異常気象等をいう。）

イ 死傷災害

業種別にみると、その他の業種１３１３人、６％増、陸上貨物運送業３２７人、５％増、交通運輸業９８人、１０％増、製造業５６人、０．３％減、建設業１８１人、１％減などである。

死傷者の経験期間別にみると、経験１年未満の者の全体に占める割合が０．９ポイント増加しているが、経験１年以上の者は概ね割合は減少している。経験１年未満の死傷者を年齢別にみると、３０歳以上６０歳未満の労働者の割合が増加している。

ウ 重大災害

業種別にみると、建設業２９件増（うち交通事故２１件増）、製造業６件増（うち中毒・薬傷７件増）などである。

事故の型別にみると、交通事故１６件増、火災・高熱物１０件増などである。

年末年始等を対象にした無災害運動等について

労働災害防止団体が、厚生労働省後援により実施予定の年末年始、年度末を対象にした無災害運動等は以下のとおり。

①中央労働災害防止協会

年末年始無災害運動（平成18年12月15日から平成19年1月15日まで）

②建設業労働災害防止協会

建設業年末年始労働災害防止強調期間（平成18年12月1日から平成19年1月15日まで）

建設業年度末労働災害防止強調月間（平成19年3月1日から平成19年3月31日まで）

③陸上貨物運送事業労働災害防止協会

年末年始労働災害防止強調運動（平成18年12月1日から平成19年1月31日まで）

④港湾貨物運送事業労働災害防止協会

年末年始港湾無災害強調期間（平成18年12月16日から平成19年1月15日まで）

国内総生産(GDP)実質成長率の推移

	平成8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	
実質成長率(%)	2.6	1.4	▲ 1.8	▲ 0.2	2.9	0.4	0.1	1.8	2.3	2.7	1～3月	3.2
											4～6月	1.5
											7～9月	2.0

(注) 1 内閣府公表資料
2 平成18年の成長率は年率換算したもの

労働災害発生件数・増減の推移

	平成8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	17年速報	18年速報
死亡災害(人)	2,363	2,078	1,844	1,992	1,889	1,790	1,658	1,628	1,620	1,514	1,086	1,137
(対前年比 %)	—	(▲ 12.1%)	(▲ 11.3%)	(8.0%)	(▲ 5.2%)	(▲ 5.2%)	(▲ 7.4%)	(▲ 1.8%)	(▲ 0.5%)	(▲ 6.5%)	—	(4.7%)
休業4日以上の死傷災害(人)	162,862	156,726	148,248	137,316	133,948	133,598	125,918	125,750	122,804	120,354	62,435	63,750
(対前年比 %)	—	(▲ 3.8%)	(▲ 5.4%)	(▲ 7.4%)	(▲ 2.5%)	(▲ 0.3%)	(▲ 5.7%)	(▲ 0.1%)	(▲ 2.3%)	(▲ 2.0%)	—	(2.1%)
重大災害発生件数	218	227	201	214	230	225	231	249	274	265	180	218
(対前年比 %)	—	(4.1%)	(▲ 11.5%)	(6.5%)	(7.5%)	(▲ 2.2%)	(2.7%)	(7.8%)	(10.0%)	(▲ 3.3%)	—	(21.1%)

(注) 平成18年の数値は平成18年11月現在の速報値

平成 18 年における死亡災害発生状況(速報)

(平成 18 年 11 月 7 日現在)

業 種	平成 18 年(1 月～10 月)		平成 17 年(1 月～10 月)		平成 16 年(1 月～10 月)		対 17 年比較		対 16 年比較	
	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	1,137	100.0	1,086	100.0	1,233	100.0	51	4.7	-96	-7.8
製造業	219	19.3	194	17.9	225	18.2	25	12.9	-6	-2.7
鉱業	15	1.3	14	1.3	14	1.1	1	7.1	1	7.1
建設業	394	34.7	354	32.6	469	38.0	40	11.3	-75	-16.0
交通運輸業	15	1.3	21	1.9	30	2.4	-6	-28.6	-15	-50.0
陸上貨物運送業	149	13.1	179	16.5	186	15.1	-30	-16.8	-37	-19.9
港湾荷役業	11	1.0	7	0.6	9	0.7	4	57.1	2	22.2
林業	47	4.1	44	4.1	31	2.5	3	6.8	16	51.6
その他	287	25.2	273	25.1	269	21.8	14	5.1	18	6.7

(注) 1 死亡災害報告より作成したもの

2 「-」は減少を示す。

平成 18 年における死亡災害発生状況(速報)

(平成 18 年 11 月 7 日現在)

業 種	平成 18 年(1 月～10 月)		平成 17 年(1 月～10 月)		平成 16 年(1 月～10 月)		対 17 年比較		対 16 年比較	
	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)	増減数(人)	増減率(%)
その他の業種	287	100.0	273	100.0	269	100.0	14	5.1	18	6.7
畜産・水産	12	4.2	14	5.1	17	6.3	-2	-14.3	-5	-29.4
商業	111	38.7	116	42.5	99	36.8	-5	-4.3	12	12.1
金融・広告	6	2.1	7	2.6	11	4.1	-1	-14.3	-5	-45.5
通信	2	0.7	3	1.1	5	1.9	-1	-33.3	-3	-60.0
接客・娯楽	21	7.3	10	3.7	17	6.3	11	110.0	4	23.5
清掃・と畜	46	16.0	46	16.8	32	11.9	0	0.0	14	43.8
その他	89	31.0	77	28.2	88	32.7	12	15.6	1	1.1

(注) 1 死亡災害報告より作成したもの

2 「-」は減少を示す。

3 「その他」は教育研究、保健衛生、警備等の合計値である。

平成 18 年における起因物別・事故の型別死亡災害発生状況(速報)

(平成 18 年 11 月 7 日現在)

	原動機	動力伝導機構	木材加工用機械	建設機械等	金属加工用機械	一般動力機械	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	圧力容器	化学設備	溶接装置	炉窯等	電気設備	人力機械工具等	用具	その他の装置、設備	仮設物、建築物、構築物等	危険物、有害物等	材料	荷	環境等	その他の起因物	起因物なし	分類不能	合計
(人)																										
墜落、転落	0	0	0	20	1	2	3	29	4	0	0	0	0	1	0	32	1	153	0	0	5	21	0	0	0	272
転倒	0	0	0	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0	0	3	0	0	0	20
激突	0	0	0	1	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8
飛来、落下	0	0	2	1	3	1	11	4	0	3	0	0	0	1	1	16	1	6	0	11	5	7	0	0	1	74
崩壊、倒壊	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	1	2	3	1	16	0	10	9	33	0	0	0	81
激突され	0	0	0	19	2	0	11	27	7	1	0	0	0	0	3	2	1	1	0	2	7	21	0	0	0	104
はさまれ、巻き込まれ	0	4	0	27	11	28	17	54	4	0	0	0	0	0	1	1	3	4	0	0	3	1	0	0	0	158
切れ、こすれ	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
踏み抜き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
おぼれ	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	13	0	0	0	20
高温・低温物との接触	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	16	0	0	0	19
有害物等との接触	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	15	0	0	8	0	0	0	26
感電	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	11	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	17
爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
破裂	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
火災	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	10	0	0	0	3	0	0	20
交通事故（道路）	0	0	0	1	0	1	1	138	135	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	278
交通事故（その他）	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
動作の反動、無理な動作	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	2	3	14
分類不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
合計	1	4	4	72	23	38	47	263	167	5	0	1	0	14	10	56	11	195	28	26	29	128	8	2	5	1137

平成 18 年における起因物別・事故の型別死亡災害の増減(対前年同期比)

(平成 18 年 11 月 7 日現在)

(人)	原動機	動力伝導機構	木材加工用機械	建設機械等	金属加工用機械	一般動力機械	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	圧力容器	化学設備	溶接装置	炉窯等	電気設備	人力機械工具等	用具	その他の装置、設備	仮設物、建築物、構築物等	危険物、有害物等	材料	荷	環境等	その他の起因物	起因物なし	分類不能	合計
墜落、転落	0	0	0	4	1	-1	-2	2	1	0	0	0	0	1	-2	7	-3	22	0	-2	5	8	0	-1	0	40
転倒	0	0	0	-2	0	0	-1	-1	1	0	0	0	0	0	-1	1	0	2	0	-1	0	1	0	0	0	-1
激突	0	0	0	-1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	-1	0	0	-2	0	1	0	0	0	0	0	1
飛来、落下	0	0	1	-5	3	0	1	-2	-1	2	0	0	0	1	1	7	1	1	-1	3	2	0	0	0	1	15
崩壊、倒壊	0	0	0	0	0	0	-3	2	0	0	0	0	0	1	1	1	-3	5	0	-6	0	13	0	0	0	11
激突され	0	0	-1	5	2	-5	4	8	1	1	0	0	0	0	1	-1	1	0	0	0	6	-4	-1	0	0	17
はさまれ、巻き込まれ	-1	3	-1	-2	3	3	-3	-4	-1	0	0	0	-1	0	1	1	0	4	0	-1	2	1	0	0	0	4
切れ、こすれ	0	0	-3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	-2
踏み抜き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
おぼれ	0	0	0	0	0	1	0	0	-5	0	0	0	0	0	0	-1	0	1	0	0	0	4	-2	0	0	-2
高温・低温物との接触	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	-1	0	0	-1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	-1
有害物等との接触	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8	0	0	5	0	0	0	15
感電	0	0	1	0	0	0	-2	0	0	0	0	-1	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-4
爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-3	0	0	0	0	0	0	-4
破裂	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	-2	-2	0	0	0	0	-4
火災	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	1	1	9	0	0	0	3	0	0	16
交通事故(道路)	0	0	0	-1	0	1	0	-42	-2	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	-46
交通事故(その他)	0	0	0	0	0	0	0	-1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動作の反動、無理な動作	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	-1	0	0	0	-3	-1	0	3	-4
分類不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-3	-2
合計	0	3	-3	-2	14	-1	-6	-35	-4	2	0	-2	-2	1	0	14	-3	34	14	-7	13	23	-2	-1	1	51

平成 18 年における死傷災害発生状況(死亡災害及び休業4日以上之死傷災害)

(速報値)

(平成 18 年 9 月末日現在)

業 種	平成 18 年(1 月～9 月)		平成 17 年(1 月～9 月)		対 17 年比較	
	死傷者数(人)	構成比(%)	死傷者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全 産 業	63,750	100.0	62,435	100.0	1,315	2.1
製造業	16,097	25.3	16,153	25.9	-56	-0.3
鉱業	234	0.4	260	0.4	-26	-10.0
建設業	13,937	21.9	14,118	22.6	-181	-1.3
交通運輸業	1,095	1.7	997	1.6	98	9.8
陸上貨物 運送業	7,299	11.4	6,972	11.2	327	4.7
港湾荷役業	164	0.3	187	0.3	-23	-12.3
林業	1,049	1.6	1,186	1.9	-137	-11.6
その他	23,875	37.5	22,562	36.1	1,313	5.8

(注) 1 労災保険給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適)より作成したもの。

2 「－」は減少を示す。

平成 18 年における死傷災害発生状況(死亡災害及び休業4日以上之死傷災害)

(速報値)

(平成 18 年 9 月末日現在)

業 種	平成 18 年(1 月～9 月)		平成 17 年(1 月～9 月)		対 17 年比較	
	死傷者数(人)	構成比(%)	死傷者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
その他の事業	23,875	100.0	22,562	100.0	1,313	5.8
卸売業又は小売業	8,014	33.6	8,507	37.7	-493	-5.8
ビルメンテナンス業	1,399	5.9	1,267	5.6	132	10.4
清掃業	1,108	4.6	980	4.3	128	13.1
旅館その他の宿泊所の事業	712	3.0	675	3.0	37	5.5
ゴルフ場の事業	567	2.4	545	2.4	22	4.0
警備業	517	2.2	462	2.0	55	11.9
その他	11,558	48.4	10,126	44.9	1,432	14.1

(注) 1 労災保険給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適)より作成したもの。

2 「-」は減少を示す。

経験期間別死傷者数の推移

	1 年未満				1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上	合計
	1 月未満	1 月以上 3 月未満	3 月以上 6 月未満	6 月以上 1 年未満					
平成 17 年(1 月～9 月発生) (全体に占める割合)	1.1%	6.5%	5.7%	7.2%	18.2%	11.2%	16.3%	33.9%	100.0%
	20.5%								
平成 18 年(1 月～9 月発生) (全体に占める割合)	1.1%	7.1%	6.0%	7.1%	17.8%	11.3%	16.1%	33.4%	100.0%
	21.3%								
割合の変化(ポイント)	0.0	0.6	0.4	▲ 0.1	▲ 0.3	0.1	▲ 0.2	▲ 0.4	—
	0.9								

(注)労働者死傷病報告(休業4日以上)により作成したもの(平成18年11月24日作成)

経験1年未満の死傷者の年齢別内訳

	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳～	合計
平成 17 年(1 月～9 月発生) (全体に占める割合)	1.8%	5.8%	4.4%	3.3%	3.6%	1.4%	0.1%	20.5%
平成 18 年(1 月～9 月発生) (全体に占める割合)	1.7%	5.8%	4.7%	3.7%	3.9%	1.4%	0.1%	21.3%
割合の変化(ポイント)	▲ 0.1	0.0	0.3	0.4	0.3	0.0	0.0	0.9

(注)労働者死傷病報告(休業4日以上)により作成したもの(平成18年11月24日作成)

平成 18 年における重大災害発生状況(速報値)

(平成 18 年 11 月 7 日現在)

業 種	(平成 18 年 1 月～10 月)			(平成 17 年 1 月～10 月)			増 減 数		
	件数(件)	死傷者数(人)	死亡者数(人)	件数(件)	死傷者数(人)	死亡者数(人)	件数(件)	死傷者数(人)	死亡者数(人)
全 産 業	218	1,307	60	180	1,499	41	38	-192	19
製造業	46	336	5	40	274	8	6	62	-3
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	86	388	29	57	256	7	29	132	22
交通運輸業	6	71	2	11	49	8	-5	22	-6
陸上貨物運送業	14	71	11	13	45	10	1	26	1
港湾荷役業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
林業	1	3	3	0	0	0	1	3	3
その他の事業	65	438	10	59	875	8	6	-437	2

(注) 1 重大災害報告より作成したもの。

2 一時に3人以上の労働者が業務上死傷又は病した災害事故について作成。

3 「-」は減少を示す。

4 被災者が属する業種が複数にまたがる場合には、主たる業種についてのみ計上している。

業種・事故の型別重大災害発生状況(平成 18 年)

(平成 18 年 11 月 7 日現在)

	爆発	破裂	土砂災害	落盤	雪崩	倒壊	墜落	クレーン等	交通事故	火災・ 高熱物	中毒・薬傷	電気	海難	その他	合計
全産業	5 12	2 0	2 0	0 0	2 0	9 5	4 2	2 1	102 86	19 9	49 47	2 2	0 1	20 15	218 180
製造業	1 11	2 0	1 0	0 0	1 0	3 0	1 1	0 0	9 13	6 2	20 13	1 0	0 0	1 0	46 40
鉱業	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
建設業	3 1	0 0	1 0	0 0	0 0	6 4	1 0	2 1	52 31	2 2	12 12	1 2	0 0	6 4	86 57
交通運輸業	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 7	0 0	1 0	0 0	0 0	3 4	6 11
陸上貨物 運送業	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	12 13	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	14 13
港湾荷役業	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
林業	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0
その他	1 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 1	2 1	0 0	26 22	10 5	15 22	0 0	0 1	10 7	65 59

(注) 1 重大災害報告より作成したもの。

2 一時に3人以上の労働者が業務上死傷又はり病した災害事故について作成。

3 被災者が属する業種が複数にまたがる場合には、主たる業種についてのみ計上している。

H18 年
前年